

漁業研修事業

目 的

漁業就業者及び漁業指導者等を対象に，短期研修や各種の講習を実施し，水産技術の修得，各種資格の取得，その他教養知識の向上をはかり，豊かな漁村づくりに寄与する。

事業内容

1. 実施期間 昭和58年4月～昭和59年3月
2. 実施場所 青森県水産試験場漁業研修センター
3. 研修項目 表1に示した。

研修結果

項目別，月別の研修結果を表2に示した。研修件数（項目）32件，受講者数延941人で，1件平均29.4人であった。また，1件あたり受講者数で最も多かったのは，1級小型船舶操縦士資格取得講習会の51人，最低は受講者0人というのが2件あった。

表1 昭和58年度漁業研修実施状況

研 修 年 月 日	研 修 名	講 師	研 修 対 象	受講 人員
58. 4. 28	サザエの増殖について	水産増殖センター 主任研究員 須川 人志	西北地区漁協組合員及 び職員	35名
	ヤリイカの増殖について	水産試験場 主任研究員 田村 眞通	同 上	
5. 11	漁業者年金及び漁業共済について	漁政課 団体金融班長 菅原 嘉男	県内漁協組合員及び職員	34
	漁業法及び漁業制度について	水産課 主 査 熊谷 登	同 上	
	漁船登録及び測度について	水産課 主 査 奈良岡修一	同 上	
5. 18	スルメイカ資源の動向について	水産試験場 主任研究員 田村 眞通	同 上	10
	いかつり用省エネルギー集魚灯について	水産試験場 技 師 兜森 良則	同 上	
6. 16 ～17	昭和58年度漁業公害調査指導事業指導員研修会	漁政課長 下城 宏之 内水面水産試験場長 長峰 良典	公害調査指導員 (水産業改良普及員)	22

研 修 年 月 日	研 修 名	講 師	研 修 対 象	受講 対象
58. 6. 28	西津軽地区人工礁漁場造成事業 説明会	漁業振興課	県, 町村, 漁協	18名
7. 26	漁船災害復旧促進事務費補助金 説明会	水産課 県漁船保険組合	西北地区漁協担当職員	12
8. 1 ～ 2	西津軽郡町村議会議長会研修会	水産試験場 場 長 田名部政春 漁業部長 赤羽 光秋	西津軽郡町村議会議長 及び事務局長	17
8. 11	クロマグロの生態と資源	北海道中央水産試験場 依田 孝	西北地区漁協組合員・ 職員及び町村担当職員	15
8. 22 ～29	1級小型船舶操縦士資格取得講 習会	日本船舶職員養成協会 職 員	西北地区漁協組合員	51
8. 30 ～9. 2	4級小型船舶操縦士資格取得講 習会	同 上	同 上	20
9. 14	サケ・マスふ化飼育技術研修会	内水面水産試験場 調査普及部長 金沢 広重	西北地区漁協組合員・ 職員及び町村担当職員	45
9. 28	魚病対策技術地方講習会	内水面水産試験場 技 師 原子 保 北海道立ふ化場 魚病課長 栗倉 輝彦	県内漁協・市町村担当 職員	33
10. 12	ヒラメの養殖	秋田県栽培漁業センター 専門研究員 小野 進	全県下漁協組合員及び 職員	29
10. 19	津軽海域総合開発事業研修会	漁業振興課沿岸漁業 指導監 関野 哲雄	西北地区漁協組合員・ 職員及び町村担当職員	19
10. 26	サクラマスの増殖	内水面水産試験場 技 師 原子 保	同 上	5
11. 2	ウニの増殖 ウニの加工	水産増殖センター 技 師 小田切明久 水産物加工研究所 主任研究員 島田 俊雄	西北地区漁協組合員 職員・町村担当職員 同 上	0
11. 16	日本海におけるアワビ増殖につ いて	日水研浅海開発部 第三研究室長 田中 邦三	同 上	15
11. 24	サケ稚魚の海中飼育放流技術に ついて	水産増殖センター 主任研究員 小倉大二郎	県内漁協組合員・職員 町村担当職員	15
12. 7	沿岸漁業改善資金説明会	漁政課主事 神 正人 信漁連 関 義文	西北地区漁協組合員・ 職員	0
12. 16	内水面漁業の振興について	漁業振興課増殖振興 班 長 小川 弘毅	西北地区漁協組合員・ 職員及び町村担当職員	2
59. 1. 18	コンパス自差修正講習会	水産試験場 東奥丸船長 高井 英和	同 上	12

研 修 年 月 日	研 修 名	講 師	研 修 対 象	受講 対象
59. 1. 25	確定申告説明会	五所川原税務署 統括国税調査官	同 上	4名
2. 15	ヒラメの生態及び稚魚放流技術 研修会	須佐 和夫 国税調査官 手塚 秀年	同 上	3
2. 22	海難事故防止と漁船安全衛生講 習会	水産試験場 主任研究員 小田切譲二 青森海上保安部 灯台課長 佐々木敏雄 救難係長 木田 正良	同 上	28
3. 12	イカ釣用集魚灯の省エネルギー について	北海道大学水産学部 教 授 鈴木 恒由	同 上	16
3. 21	漁業協同組合監事研修会	漁政課班長 菅原 嘉男	西北地区漁協監事	25

表 2 昭和58年度漁業研修結果

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
研修件数（項目）		2	5	2	1	4	2	3	4	2	2	3	2	32 件
研 修 日 数		1	2	3	1	15	2	3	2	1	2	2	2	36 日
受 講 者 数（延）		35	44	62	12	537	78	53	30	2	16	31	41	941 人
内 訳	資格取得	件数 日数 人数				2 12 488								2 件 12 日 488 人
	増 養 殖 （栽培漁 業含む）	件数 日数 人数	2 1 35		1 1 18		2 2 78	3 3 53	3 2 30	1 1 2		1 1 3		13 件 11 日 219 人
	漁海況・ 漁業技術 資源生態	件数 日数 人数		1 0.5 5		1 1 15								2 件 1.5日 20 人
	漁業経営	件数 日数 人数		1 0.5 5							1 1 4		2 2 41	4 件 3.5日 50 人
	安全操業	件数 日数 人数									1 1 12	2 1 28		3 件 2 日 40 人
	利用加工 そ の 他	件数 日数 人数		3 1 34	1 2 44	1 1 12	1 2 34		1 × 0 0	1 0 0				8 件 6 日 124 人
	宿泊施設利用	日数 人数	0 0	0 0	1 20	0 0	1 16	1 7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 日 43 人

注 ○半日の研修も1日とした。 ○同日に2件の研修項目のときは、各0.5とした。
○×印のように参加者が0人のときは、日数も0日とした。